

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 3月 6日更新

事務事業名		職員採用事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	25	行政改革の推進	所属課	総務課	担当者名	榮 峰男
	施策の柱	82	職員の人材育成	所属班	人事班	(内線)	1222
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10938	根拠法令 地方公務員法第15条	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県町村会取りまとめによる共同試験により、年1回(9月)実施。職員採用時について、能力の実証と公平な採用を行うため。地方公務員法に定める職員採用に関する根本基準は変化なく、他の自治体においても同様に実施している。
【業務の流れ】	【申込み】 公告、市広報紙、ホームページにより募集を行う。 【第1次試験】 申込者に対し第1次試験(筆記試験)を実施する。 【第2次試験】 第1次試験合格者に対し第2次試験(面接)を実施する。 【第3次試験】 第1次試験合格者に対し第3次試験(面接)を実施する。 【合格者決定】 合格者を決定し、職員採用候補者名簿に登載する。
【主な予算費目】	【款】 2 総務費 【項】 1 総務管理費 【目】 1 一般管理費 【節】 11 消耗品費 1 9負担金
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
【前年度内容】 9月実施の統一試験において、行政(大卒程度)、一般事務(高卒程度)、同(スポーツ枠)、同(身体障害者)、社会福祉士、社会人経験者の6種に、230名の応募があり、第1次試験に164名(受験率71%)が受験した。第2次試験を経て、平成27年4月に14名の新規採用を行なった。		共同試験については、前年度と同様。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 試験回数	人	選考回数を増やしたことに伴う試験結果通知郵送料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
志合市職員採用試験を受けようとする者	人	→ ア: 受験者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
能力の実証と公平な受験が出来る。	%	→ ア: スムーズにできた、適正な採用試験が実施できた割合
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
意図である「能力の実証と公平な受験が出来る」からすると、適正な採用試験の実施が成果指標となる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 人	3	1	1	0	1	1	1	1	1	
	イ 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
② 対象指標	ア 人	144	164	120	0	100	100	100	100	0	
	イ 人										
③ 成果指標	ア %	100	100	100	0	0	0	0	0	0	
	イ %										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	672	694	814	706	852			
		(A) 事業費計	千円	672	694	814	706	852	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	550	667	774	666	773	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	283	313	360	315	359	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	3,350	3,840	1,992	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	15	21	20	0	17	0	0	0	
	延べ業務時間	時間	841	964	500	0	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	3,350	3,840	1,992	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,022	4,534	2,806	706	852	0	0	0	

事務事業名	職員採用事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 適正な採用試験は実施可能である。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現在の成果指標が100%であり向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 職員の任用については、地方公務員法第15条で「受験成績、勤務成績その他の能力の実証に基づいて行わなければならない」とあり、採用試験を実施している。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 採用試験であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 住民や地域団体への移行は難しい。

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						